

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価書（平成28年度）

平成29年2月22日（水）

甲斐市立敷島中学校 学校評議員・学校関係者評価委員会作成

平成28年度 敷島中学校評議員・学校関係者評価委員会合同会議

実施日：平成29年2月14日（火） 午後4時00分～

会 場：敷島中学校校長室

参加者：（学校評議員 兼 学校関係者評価委員）

河西 壽人 [委員長]，五味 和恵，五味 勝己，雨宮 久美子
（学校関係者評価委員）

保延 浩子
（学校側） 海野 武仁 [校長]，立川 武 [教頭]

I 学校側から提案された資料

- ・平成28年11月実施の「教職員による自己評価」「生徒アンケート」「保護者アンケート」の分析結果及び課題点と改善策を示した「自己評価書」
- ・「創甲斐教育推進大綱」に示された学校教育の充実に関する平成31年度目標値に対する本年度及び昨年度後期の比較とその改善策
- ・自己評価シート集計結果表（前年度後期・本年度，甲斐市全体との比較）
- ・生徒アンケート集計結果表（前年度後期・本年度，甲斐市全体との比較）

II 協議された主な内容

学校側から提示された自己評価書及び生徒アンケートの結果に基づき，本校の教育活動や学校運営の状況の分析について，課題点が正しく把握されているか，改善策が適切であるか等について協議した。また，学校運営に関することや生徒の様子，今日的な教育課題等について意見交換を行った。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

今年度は年に一度の学校評価の実施であるので，「総括評価」と言える。資料に掲載されている数値との比較は難しいが，参考としていただいた。

教職員による自己評価は，すべての項目においてA評価またはB評価が最も高い回答率であった。46項目中35項目が肯定率が9割以上であった。A評価の回答率が最も高かったのは23項目，B評価が高かったのが27項目である。このことから，全体的に見て敷島中の教職員は，校長が掲げる学校経営方針に基づいた教育活動に日々懸命に取り組んでいることがわかる。授業についても，「基礎・基本の定着を図る授業」「生徒から質問や発言が出る授業」「個に配慮した授業」を行っていることがわかる。

課題としては，評価規準と評価方法をより明確にし，「やまなしスタンダード」を積極的に取り入れた授業改善があげられる。また，生徒の家庭学習や自主学習の取組へ配慮することも重要である。また，生徒アンケートや保護者アンケートから，読書時間の少なさにどのように取り組んでいくかが求められている。さまざまな課題はあるが，そ

の改善に向け、全職員が課題をしっかりと共有し、管理職のリーダーシップの下、同一歩調で、本年度のまとめをしっかりと行い、次年度へつなげてほしい。

II 特 徴

- ・校長の経営方針，教育理念を全職員が共有し，教育活動が行われている。
- ・学校運営については概ね良好である。職員会議や諸会議を学校経営に効果的に位置づけながら，教職員一人一人がより主体的に学校運営に参画していく必要がある。
- ・学級，学年において，自治的な集団を目指しながら諸活動に取り組んでいる。指導の成果として，生徒の規範意識の高まりも見受けられる。
- ・基礎基本の習得，学習意欲の喚起，学習指導についての取組に力を入れている。「わかる授業」「より学びたくなる授業」について継続して取り組むことが重要である。
- ・「報告・連絡・相談・確認」を大切にし，組織的に教育活動が行われている。
- ・生徒アンケートの結果からは，国語の授業内容の理解度の高さや，朝ごはんを食べてから登校する生徒の割合の高さなどがわかる。
- ・家庭学習の充実や読書活動については課題があるので，今後課題解決の手立てを講じ，取り組む必要がある。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・生徒が質問しやすい授業づくりが全体的になされており，安心した。授業中，生徒が発言する機会を取り入れた授業づくりを，今後も行っていきたい。
- ・PDCAサイクルを意識して，各教育活動を実践することが重要だ。
- ・読書の時間が減少していることが懸念される。ゲームやスマホの影響も考えられるが，読書の時間を活用したり，図書室の充実をすすめたりしながら，今後も継続して読書に関する課題に取り組む必要がある。
- ・敷島北小では，地域人材を活用した土曜学習を始めた。甲斐市でも推奨している。取組の参考にしていきたい。

※特記事項（意見交換の中で出されたもの）

- ・新年度当初，特に新しく敷島中の保護者になった方々のために，先生方に胸に大きめの名札をつけていただくとありがたい。（現在使用している名札は，首からかけるタイプで文字も小さく，見づらいため。）
- ・職場の福利厚生は，日々教育活動を行う上で実は大変重要なことである。ここ数年職員室の拡張（増改築）を市教委に要望していると思うが，実現されず大変残念である。教師が最大限のパフォーマンスを発揮し，明るく教育活動に取り組むためにも，職員室のことは喫緊の課題である。PTAからも働きかけるなどして，職員室の拡張の実現に向け取り組んでいただきたい。
- ・まとめにも記載されているように，学校評価の結果を全職員で共有し，各教職員が課題意識を強くもって，今後も課題解決に取り組んでほしい。

記載責任者

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価委員会委員長 河 西 壽 人 ㊞